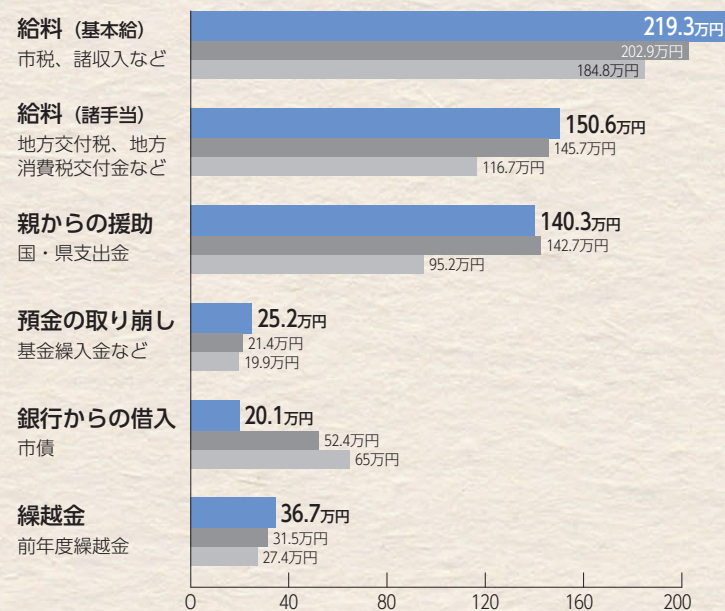


西条さん家の家計簿

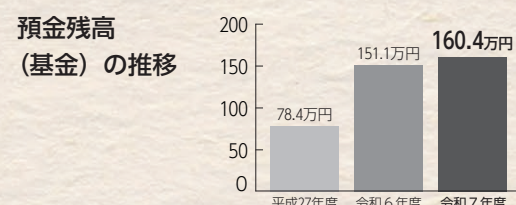
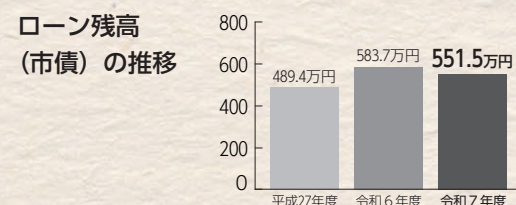
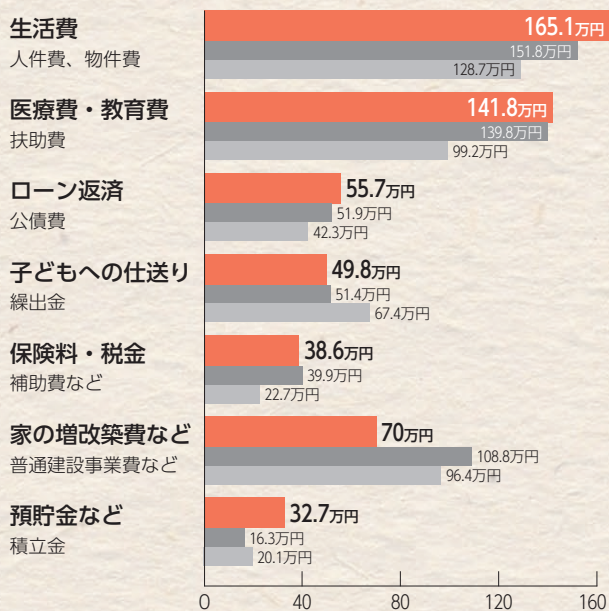
令和7年度の決算と市債・基金残高の一般会計を1万分の1にして家計簿に例え、昨年度・10年前（平成27年度）と比較してみました。

令和7年度
令和6年度
平成27年度

収入 R7 592.2万円
R6…596.6万円 H27…509.1万円



支出 R7 553.7万円
R6…559.9万円 H27…476.8万円



※収入合計592.2万円から支出合計553.7万円を差し引いた金額38.5万円は翌年度の家計に持ち越します

令和6年度との比較 で家計簿を読み解く

収入は、**給料（市税、交付金など）**が増加しましたが、**家の増改築費など（普通建設事業費など）**の減少に伴う**銀行からの借り入れ（市債）**や**親からの援助（国・県支出金）**なども減少したことから、4.4万円減少しました。

支出は、**預貯金など（積立金）**や**ローン返済（公債費）**が増加しましたが、大型事業である「東部学校給食センター整備事業」の減少などにより、**家の増改築費など（普通建設事業費など）**が減少したことから、6.2万円減少しました。

令和6年度と比較すると、預金残高（基金）は増え、ローン残高（市債）は減り、家計の状況は改善しましたが、預貯金の引き出しや銀行の借入に依存しないよう、収入に見合った支出の計画を立てることで、ローンの返済をしながら、今後増えることが想定される切り詰めに**く生活費（人件費、物件費）**や**医療費・教育費（扶助費）**などに備える必要があります。

市民1人当たりのお金の使われ方

住民基本台帳登録数101,711人
(令和8年3月31日現在)

民生費
215,664円
社会福祉や医療助成などの充実

総務費
82,552円
市庁舎の維持管理や市の総括的な事務運営

教育費
59,654円
幼稚園や小・中学校の整備や文化振興など

公債費
54,794円
国などから借り入れたお金（市債）の返済

土木費
46,747円
道路や河川などの整備や維持管理

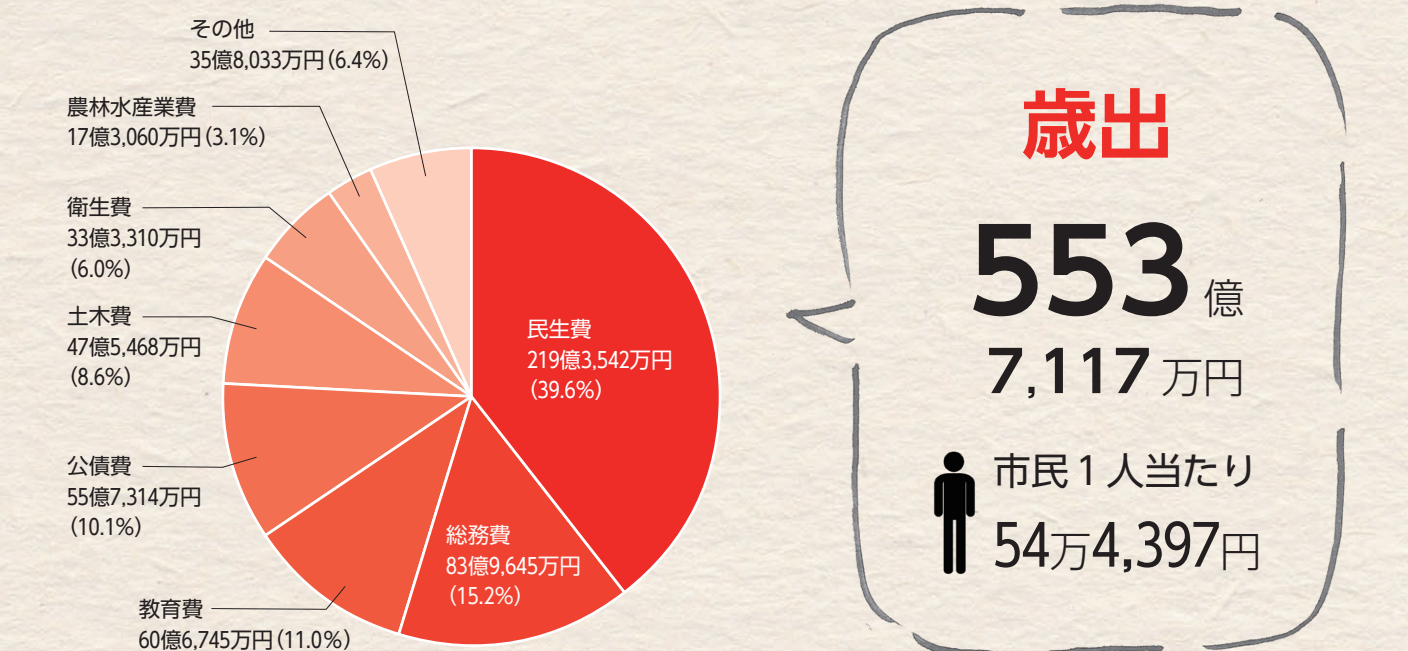
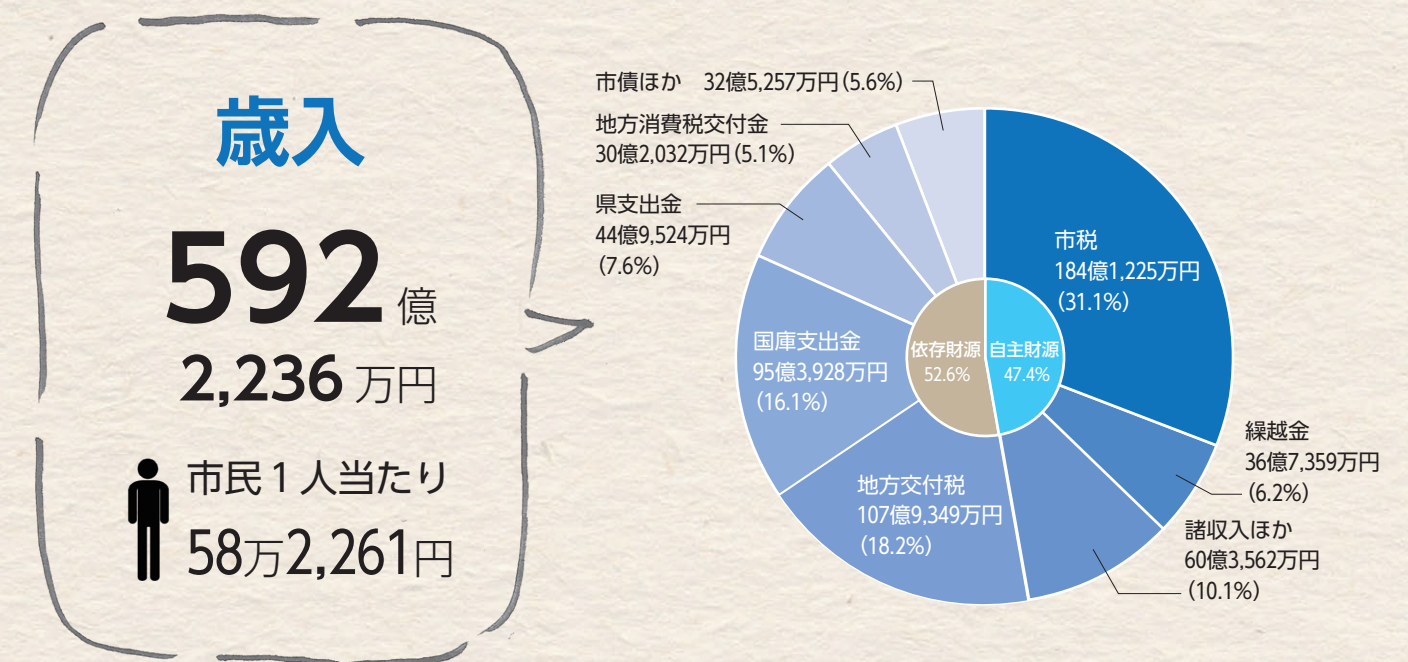
衛生費
32,770円
健康診断や各種健診、ごみ処理など

農林水産業費
17,015円
農林水産業の振興など

その他
35,201円
消防・救急活動、商工業や観光の振興など

西条市の 令和7年度 決算

令和7年度の決算がまとまりました。
昨年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかお伝えします。
問合せ 財政課 Tel0897-52-1271



特別会計、企業会計、市の財産・借金などの詳細

●特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	109億7,449万円	108億6,911万円	1億 538万円
介護保険	120億6,814万円	120億2,336万円	4,478万円
小松地域交流事業	266万円	266万円	0 円
本谷温泉事業	1億 181万円	1億 181万円	0 円
畑地かん水事業	3,023万円	1,730万円	1,293万円
庄内財産区	56万円	56万円	0 円
壬生川財産区	483万円	429万円	54万円
後期高齢者医療保険	20億5,840万円	20億1,444万円	4,396万円
合計	252億4,112万円	250億3,353万円	2億 759万円

●企業会計の決算状況

区分	収支の種類	収入	支出	当期純利益・損失	企業債現在高	財源補てん※
水道事業会計	収益的収支	10億6,246万円	9億6,702万円	5,845万円	44億3,707万円	0 円
	資本的収支	2億5,785万円	8億6,193万円	－		
公共下水道事業会計	収益的収支	25億 658万円	24億7,094万円	▲3,654万円	164億1,044万円	7億1,808万円
	資本的収支	24億2,801万円	31億7,504万円	－		
病院事業会計	収益的収支	1億5,466万円	2億 679万円	▲5,213万円	2億8,101万円	6,336万円
	資本的収支	6,955万円	1億2,037万円	－		

特別会計と企業会計の決算状況	
特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など、特定の仕事をする場合に一般会計とは別に経理する会計のことで、全ての会計で黒字または収支が均衡となっています。	と病院事業会計（病院が医療サービスから得られる収益を除く）は、料金収入などの収益だけでは経営が難しいため、一般会計から財源不足額を補てんしている状況です。一般会計からの支援に依存しない独立採算に向け、収入の増加や支出の見直しが必要となっています。
企業会計は、企業経営という観点から独立して経理をする会計のことで、このうち、公共下水道事業会計	

令和7年度と令和6年度を比較すると、歳入・歳出ともに決算額が減少する結果となりました。歳出では、物価高騰対策である「生活者支援・地域消費促進事業」や「物価高対応子育て応援手当支給事業」を実施してきましたが、大型事業である「東部学校給食センター整備事業」や「道前クリーンセンター整備事業」などの事業費が減少し、歳入においても、これらの事業の財源として活用していた国庫支出金や市債が減少したことなどによるものです。

今後、物価・エネルギー価格の高騰、民間の賃上げ等の影響が長期化するなか、将来負担の軽減を図るためには、公共施設マネジメントのさらなる推進による施設運営のあり方を含め、これまで以上に事業の選択と集中に取り組むことで経費節減を図るとともに、多様な歳入確保を図るなど歳入・歳出両面による取組を推進し、長期的な視点で事業の「全体適正化」を図り、持続可能で強固な財政基盤の確立を目指します。

●市の財産 ※基金に属する土地は除く

土地	2,911万5,456㎡
建物	51万7,954㎡
基金	187億697万円※
有価証券	2,174万円
出資金	2億1,912万円
債権	12億250万円

●市の借金（市債現在高） ※企業会計を除く

一般会計	551億5,275万円
特別会計	0円
合計	551億5,275万円
市民1人当たりの借金	54万2,250円

令和7年度に実施した主な事業

総務費

LOVE SAJOポイントを利用した地域経済の活性化

○「SDGs×DX」による持続可能なまち西条推進事業
LOVE SAJOポイント上乗せ付与による消費喚起 4,633万円

○窓口改革推進事業 1,793万円
オンライン申請による証明書発行を実施

民生費

今年4月から「小松こども園」が開園

○小松こども園整備事業 4億 758万円
小松幼稚園と小松西保育所を統合

○物価高対応子育て応援手当支給事業 3億 256万円
物価高の影響を受けている子育て世帯へ給付金を支給

衛生費

やすらぎ苑の機能維持のため工事を実施

○省エネ家電製品購入促進事業 2,495万円
省エネ性能に優れた家電の購入を支援

○やすらぎ苑整備事業 2億2,548万円
火葬炉設備の改修工事などを実施

土木費

自転車が安全に通行できる道路環境の整備

○自転車ネットワーク整備事業 971万円
路線整備を進めることで安全な自転車利用を促進

○河川改修事業 7,729万円
西山川などの市内河川の改修工事を実施

消防費

消防団の活動を支える普通積載車を更新

○防災事業 1,186万円
家具等固定器具の購入などを支援

○消防車両等整備事業 1,047万円
消防団普通積載車などを更新整備

教育費

1人1台タブレット端末を更新整備

○小・中学校施設躯体健全化事業 4億 366万円
老朽化が進む学校施設の外壁改修などを実施

○小・中学校GIGAスクール整備事業 5億4,334万円
児童生徒使用のタブレット更新整備